

ひまわり通り商店街振興組合(豊田市) 【代表者:理事長 坂野正康】

キャッチフレーズ

人に愛される安全安心な専門店街

活性化モデル商店街としてのモデル性

店主ひとり、ひとりが専門性を身につけ、“何でも気軽に相談できる豊田市の老舗商店街”を目指し、来街者が快適と思う空間演出を心掛け“安全安心なまち”をアピールする生活支援型商店街

商店街の将来ビジョン

ひまわり通り商店街は、桜城(挙母城)から飯田へ続く“塩の道”街道筋として栄えた地域に位置し、50年以上の老舗や専門店が構成された歴史ある老舗専門店の商店街である。

しかしながら、近接する駅前周辺の商業施設等との回遊性が形成されておらず、商店街内の歩行者通行量は年々減少している。

こうしたなか、当商店街を通る都市計画道路「竹生線」が、平成20年度に電線地中化、バリアフリー化に整備されることを契機として、既存老舗店舗を活かした商店街づくりを推進し、老舗ならではの本物の質を追求した高質なライフスタイルを提供できる商店街を構築していく。

- 1 商店主の専門的知識を深めることで老舗という名にふさわしい商品とサービスの提供を目指す
- 2 周辺の魅力的な資源を利用し、集客や商店街の認知度を高める
- 3 快適で安全安心なまちづくりに貢献する

具体的に取組む事業内容

街路灯建替え事業(安心安全パトロール) (20年度)

竹生線電線類地中化工事に合わせ、環境に配慮したLED仕様の街路灯を設置し、あわせて地元自治区と協力して定期的な安全パトロールを実施する。

三日祭 (20年度～22年度)

商店街地区内には歴史ある「浄久寺」があり、毎月3日は毘沙門天の祭が行われていることから、祭にあわせて定期的に催事を行う。

だるま市(1/3)、節分(2/3)、ほおずき市(7/3)、毘沙門大祭(10/3)

まちかど博物館(21年度～22年度)

空きスペース等を活用して、地域のコレクターが保有する商品や伝統の技、昔の道具、家財等を展示して、来街者が見学・体験できる場を提供する。

花飾り事業(21年度～22年度)

“花”を利用して、まちの美化と市民が主体となってまちを美しく魅力的にすることを目的とする市の「花やか豊田プラン」に則り、商店街内の景観に配慮した花の寄植えを実施する。